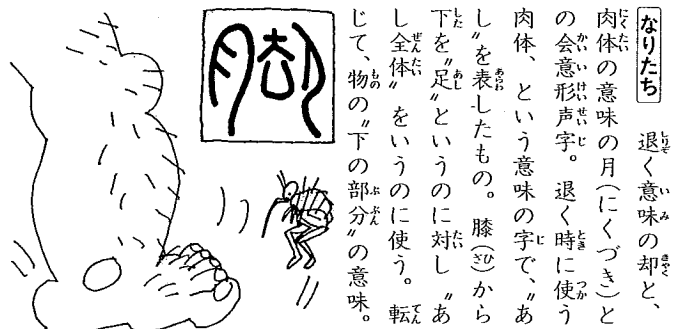


# 脚

キヤク・キヤ  
あし

11画  
月 肘 肘 肘 脚 脚



なりたち 退く意味の却と、肉体の意味の月(にくづき)との会意形声字。退く時に使う肉体、という意味の字で、あしを表現したもの。膝(ひざ)から下を「足」というのに対し、「あし全体」をいうのを使う。転じて、物の「下の部分」の意味。

▼脚。歩くこと。  
脚力：脚の力。歩く力。  
健脚：脚が強く、歩くことが達人なこと。  
行脚：僧が諸国を歩いて修行すること。今は僧に限らず使う。

▼立場。より所。  
立脚：脚を立てる意味。立場を決めること。  
失脚：脚を踏み外す意味で、地位(下り所)を失うこと。  
▼下の部分。  
脚注：書物の本文の下の部分に付けた注釈。

▼動作。  
脚本：俳優の動作・せりふを書いた演劇の台本。  
脚色：小説などを書きかえて脚本にすること。  
よみかた 脚立・脚光・三脚

# 脚缶

# 缶

カン

6画  
ノ 一 一 一 缶 缶



なりたち 旧字体は罐。酒などを入れる器の形をかたどった缶と、鶴(つる)を表した鶴との会意形声字で、鳥の形をした酒器を表した字だが、Kanの当て字として用いたもの。また、湯を沸かす道具の名。

▼缶(オランダ語(Kan)で、ブリキ製の容器のこと)。  
缶詰：缶に食品などを詰めて長期間保存できるようにした物。  
た物。  
▼湯を沸かす道具。  
薬缶(かん)：湯を沸かすアルミニウム・銅・アルマイト製の道具。元は葉を煎(せん)じるための素焼きのかめであった。

汽缶：蒸気機関の蒸気を発生させるかま。ボイラー。

# 由

ユ・ユウ・ユ  
よし

3画  
一 冫 巾 由 由



なりたち 酒を入れる底の深い大きな容器の形をかたどった象形字。酒を器に移して用いるので、酒の「よる」所というので、「由(よる)」の意味に用いられた。

いみとじゆく

▼因る。由(よる)。  
由来：①よって来るところの意味で、物事の経て来た道筋。また、そこから起こって来ていること。【用例】その言葉の由来。②もともと。昔から。  
由緒：「緒」は筋道の意味。①由来。【用例】由緒を正す。②立派ないわれ。【用例】由緒ある家柄。

縁由：由来と同じ意味。  
自由：自分の心によつて行動する意味。強制や束縛を受けないこと。  
經由：目的地へ行くのに通過すること。

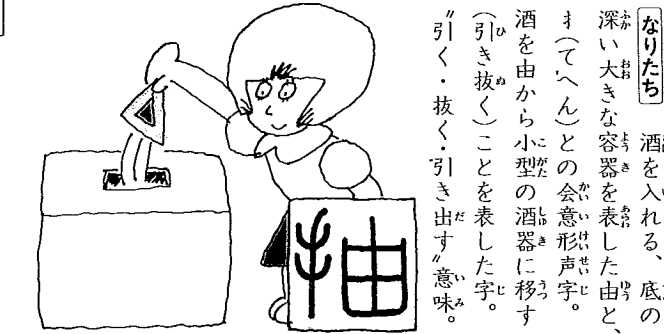
▼由。趣。旨。訳。  
事由：事の由の意味。事の趣。特に事の起こった訳。  
理由：道理として当然そうなる訳。

# 由抽

# 抽

チュウ

8画  
一 扌 扌 扌 抽 抽



なりたち 酒を入れる、底の深い大きな容器を表した由と、オ(てへん)との会意形声字。酒を由から小型の酒器に移す(引き抜く)ことを表した字。引く・抜く・引き出すの意味。

いみとじゆく

▼引く。抜く。引き出す。  
抽出：抜き出すこと。引き出すこと。【用例】果汁から抽出したエキス。

抽象：いろいろな物事からそれらに共通な性質や特徴を抜き出し、一つのまとまりのある考えをつくること。  
抽象的：①共通点を抜き出して、一つにまとめてとらえている様子。②実際の物事からはなれて、頭のみで考えてきたため、はっきりしない様子。【用例】抽象的に言わないで、具体的な例を示して下さい。  
抽選：くじを引くこと。くじ引き。

